

～下記の研究を行います～

## 『大阪がん診療実態調査』

【研究の主宰機関】大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部

【研究代表者】森島 敏隆

【研究の目的】大阪府のがん拠点病院のがん医療の均てん化推進に向けて、がん拠点病院の現状把握を目的としている。

【研究の期間】研究許可日～2028年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013年1月から2022年12月にがんと診断され、院内がん登録された方

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：患者基本情報（全ての診療・保険請求情報（DPC/レセプトデータ））

疾患情報（院内がん登録情報）

●外部への情報等の提供

大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部へ利用する情報を電子媒体で郵送します。利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報には削除いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

大阪国際がんセンター 森島 敏隆 ほか

大阪府内の国指定および府指定がん拠点病院

大阪府ホームページ

([http://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/osaka\\_gan-portal/kyotenlist.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/osaka_gan-portal/kyotenlist.html)) を参照

【研究の資金源】

・日本学術振興会の科学研究費補助金（研究課題名：「がん登録とDPCデータの連携：がん医療の均てん化と医療情報基盤の発展に向けて」）

・厚生労働科学研究費補助金・がん対策推進総合研究事業（研究課題名：「がん診療連携拠点病院等における医療提供体制の均てん化のための評価に既存資料を活用する」）

・事業参加病院の通信費（研究事務所にデータ等を送付する送料）

## 【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 研究責任者

国立病院機構 大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

がんセンター がん登録室長

総合診療科 医師

間島 行則

### 研究代表者

大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部

森島 敏隆